

Whitediff (1L)

- Yumizen H500 OT / CT / H550

REF 1210906022

REAGENT 1 L

IVD CE

HORIBA ABX SAS
Parc Euromédecine - Rue du Caducée
B.P. 7290
34184 MONTPELLIER Cedex 4
FRANCE

血液学装置 (試験管内テスト用)

用途^a

Whitediff 1L は、試験管内テスト用および HORIBA Medical 血球計数装置における白血球 (WBC) の計数と分類のために赤血球 (RBC) の溶血とヘモグロビン測定用に設計された溶解試薬です。

警告および使用上の注意

- **Whitediff 1L** は専門家による試験管内テストにのみ使用します。
- ユーザーの責任において本文書を製品使用時に適用できるようにしてください。
- 本試薬は規定 (EC) N°.1272/2008 による危険物ではありません。
- ユーザーが化学製品を取り扱うときは、承認を受けた保護服を着用してください：検査室用上着、手袋および保護めがね。
- 適切な検査室の使用上の注意事項を守り、国または自治体の健康および安全ガイドラインに従ってください。
- 皮膚接触、摂取、または吸入して不快症状が現れた場合は、医師に相談してください。
- **Whitediff 1L** に関連性のある物質安全データシート (MSDS) を参照してください。
- この試薬は上記で指定した HORIBA Medical 製血球計数装置で使用するためのものです。HORIBA Medical は、上記で指定した以外の機器、または HORIBA Medical 製以外の機器でこの試薬が適切に機能することを保証いたしません。

廃棄物の管理

自治体の法規制を参照してください。

^a 変更: 計器が追加されました。

^b 変更: シアン化物イオン/シアン化水素が追加されました。

微生物の状態

該当せず。

性状と組成^b

性状:

透明～淡黄色の水溶液。
シアン化物イオン/シアン化水素試薬。

組成:

溶解剤	< 5%
界面活性剤	< 5%
防腐剤	< 1%
緩衝	
ディルエント	qs 100%

保存および安定性

- **保存条件 (開封前)**: 2-25°C (36-77°F). 凍結させないでください。
- **開封後の安定性**: 2ヶ月 開封後かつ使用期限内で最高 15-30°C (59-86°F)。
- **使用期限**: 試薬の包装ラベルに記載された「使用期限」をご参照ください。

Whitediff (1L)

資料が必要ですが、提供されていません

- 自動ヘマトロジーアナライザー。
- 校正器： **ABX Minocal**。
- コントロール： 装置で使用する特定のコントロールについては取扱説明書を参照してください。
- 適切な検査室機器。

検体

サンプルの採取：

全血サンプルは適切な技術を使用して採取してください！ ヒト検体抽出物を含むすべての検体、試薬、キャリブレーション、コントロールなどは、感染の恐れがありますので、バイオセーフティ規制に従ってください。(1, 2)
血液検体を採取する場合、静脈血を推奨しますが、極端な場合は動脈血も使用できます。採取した血液は、真空または大気のプロベキに貯蔵する必要があります(3, 4)。採血管は、測定結果のバラツキを抑えるためにラベル表示された数量通りに注入する必要があります。

推奨抗凝固剤：

推奨する抗凝固剤は、試験管製造元が指定する適正な「血液：抗凝固剤」の比率を維持した K_3 -EDTA および K_2 -EDTA です。それ以外の場合は、凝塊することがあります。

血液サンプルの安定性：

取扱説明書を参照してください。

マイクロサンプリング：

装置のサンプリングモードでユーザーは、小児科および老年科の場合、マイクロサンプルを扱うことができます(最小血液サンプル量については装置の取扱説明書を参照してください)。これらのマイクロサンプルは次の条件でのみ使用できます：

- 試験管が常に垂直に保持されている必要があります。
- 血液混和が試験管を軽く叩いておこなえる必要があります。混和する場合試験管を回転させないでください。さもなければ、血液が試験管の側面に広がり最小必要量が確保できません。

混和：

サンプリングの直前に、血液サンプルをゆっくりと十分混和する必要があります。これにより測定用に均一な混和が確保できます。

手順

本試薬はすぐに使用できます。

1. バーコードリーダーを使用するか手で **Whitediff 1L** を特定するには、取扱説明書を参照してください。
2. 必要な場合、試薬コンパートメントから空の **Whitediff 1L** を取り除きます。
3. 新しい試薬ボトルのキャップを外します。
4. ストッパー・アセンブリーストローをボトルに挿入します。
5. 適切な密封を確保するには、ストッパー・アセンブリーを締めます。
6. **Whitediff 1L** を装置の試薬コンパートメントに取り付けます。

装置のソフトウェアに表示される指示に従います。詳細な測定およびコントロール手順については、装置の取扱説明書を参照してください。

メソッド^o

Whitediff 1L は赤血球 (RBC) の細胞膜を破壊し、ヘモグロビンを解放できるようにして分光光度計で測定されるようにします。

Whitediff 1L は、6つの母集団(リンパ球、単球、好中球、好酸球、好塩基球、大型未成熟細胞)の総リンパ球数および白血球像を可能にする厳選された溶解剤です。

Whitediff 1L また、異型リンパ球を検出することもできます。

性能特性および本法の限界

装置の性能特性および装置測定項目の測定限界については、取扱説明書を参照してください。

分析結果の計算および解釈

測定結果の計算および解釈については、装置の取扱説明書を参照してください。

^o変更：訂正。

Whitediff (1L)

手順の変更および性能の変化

パッケージの損傷

保護パッケージ損傷の場合、損傷が製品性能に影響するならば **Whitediff 1L** を使用しないでください。

劣化の兆候

物理的または化学的劣化 (混濁、変色など) の兆候がみられる場合は、**Whitediff 1L** を交換してください。

温度限界

Do not use **Whitediff 1L** if it has been frozen or kept at a temperature above 25°C.

Whitediff 1L を使用する前に、装置の取扱説明書に記載されている動作温度条件に達していることを確実にします。

内部精度管理

HORIBA Medical 特定範囲で試薬および装置の完全性を定期的に評価するためにコントロール血液を使用する必要があります。

HORIBA Medical は、オンライン検査室間比較プログラム (QCP) を提供しており、インターネットにアクセスできます：

- 内部精度管理結果をオンラインで送信します。
- 世界中の数百の施設と直接分析性能をモニターして比較します。
- QCP からリアルタイムでピアグループの統計レポートを取得

詳しくは、次のアドレスをご覧ください。

<http://qcp.horiba-abx.com>

キャリブレーションおよびコントロール物質のトレーサビリティ

該当せず。

基準間隔

該当せず。

参考文献

1. Occupational Safety and Health Standards: bloodborne pathogens. (29 CFR 1910. 1030). Federal Register July 1, 1998; **6**: 267-280.

2. Protection of Laboratory Workers From Occupationally Acquired Infections; Approved Guideline - Fourth Edition. CLSI (NCCLS), document M29-A4 (2014) **34** (18).
3. Procedures for the Collection of Diagnostic Blood Specimens by Venipuncture; Approved Standard - Sixth Edition. CLSI (NCCLS), document H3-A6 (2007) **27** (26).
4. Procedures and Devices for the Collection of Diagnostic Capillary Blood Specimens; Approved Standard - Sixth Edition. CLSI (NCCLS), document H4-A6 (2008) **28** (25).

